

1 令和4年度予防接種事業について

(1) 実施予防接種一覧

種類		対象年齢	接種方法	備考
ロタウイルス	1価ワクチン	生後6週～生後24週	個別接種 ※3	※1 令和7年3月31日までの時限措置。
	5価ワクチン	生後6週～生後32週		
ヒブ		生後2～60月未満		
小児用肺炎球菌		生後2～60月未満		
B型肝炎		生後1歳未満		
4種混合	1期初回	生後3～90月未満		
	1期追加	生後3～90月未満		
不活化ポリオ	初回	生後3～90月未満		
	追加	生後3～90月未満		
三種混合	1期初回	生後3～90月未満		
	1期追加	生後3～90月未満		
BCG		生後1歳未満		
麻しん風しん混合(MR)	1期	生後12～24月未満		
	2期	就学前の1年間		
麻しん	1～2期	上記MRに同じ		
風しん	1～2期	上記MRに同じ		
水痘		生後12～36月未満		
日本脳炎	1期初回	生後6～90月未満		
	1期追加	生後6～90月未満		
	2期	9～13歳未満		
	特例) 20歳未満までに不足分	平成19年4月1日以前生まれて20歳未満の者		
	特例) 9～13歳未満までに不足分	平成21年10月1日以前生まれて13歳未満の者		
二種混合	2期	11歳～13歳未満		
HPV		小学校6年生から高校1年生に相当する年齢の女子		
	キャッチアップ接種※1	平成9年4月2日～平成18年4月1日生まれの女子		
風しん	5期※1	昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までの間に生まれた男性	個別接種	
高齢者インフルエンザ		65歳以上	個別接種 ※3	
		60歳以上65歳未満で厚生労働省令に定める者 ※2		
高齢者肺炎球菌		65歳		
		経過措置：70・75・80・90・95・100歳		
		60歳以上65歳未満で厚生労働省令に定める者 ※2		

(2) 定期接種事業

ア 予防接種被接種者数

		H30	R1	R2	R3	R4	R4広域	R4県外
ロタウイルス		-	-	571	1,118	1,229	107	17
ヒブ		2,693	2,648	2,687	2,213	2,350	189	19
小児用肺炎球菌		2,690	2,693	2,640	2,209	2,349	190	19
B型肝炎		2,016	1,962	1,938	1,652	1,747	140	16
4種混合		2,703	2,737	2,682	2,241	2,338	179	9
不活化ポリオ		13	5	3	0	2	1	0
三種混合		0	2	0	1	0	0	0
BCG		641	686	659	517	621	41	0
MR混合1期		647	728	666	592	564	45	1
MR混合2期		737	752	752	723	709	25	0
麻しん		0	0	0	0	0	0	0
風しん		0	0	0	0	0	0	0
水痘		1,367	1,425	1,407	1,226	1,085	83	1
日本脳炎1期		2,464	2,252	2,362	1,487	2,473	114	2
日本脳炎2期		904	773	789	253	1,064	6	1
二種混合		593	748	766	659	610	5	0
HPV		5	14	288	409	942	2	5
風しん5期	ワクチン接種	-	190	194	120	55		
	抗体検査	-	884	885	559	250		
高齢者インフルエンザ		5,034	5,339	7,513	6,761	7,407	351	17
高齢者肺炎球菌		609	370	475	502	419	16	1

単位：人

※ロタウイルスは、令和2年10月から定期接種として実施した数字。

※風しん5期は、平成31年4月から定期接種として実施した数字。

イ 3歳時点での接種率

		H27年 生まれ	H28年 生まれ	H29年 生まれ	H30年 生まれ	R1年 生まれ
ポリオ (生・不活化・ 4種混合含む)	1回目	97.7	98.2	97.6	98.7	98.3
	2回目	97.1	98.1	97.4	98.7	98.3
	3回目	97.1	97.8	97.3	98.7	98.0
	追加	94.3	95.2	95.2	96.7	95.7
三種混合 (4種混合含む)	1回目	97.5	98.1	97.0	98.7	98.3
	2回目	97.1	98.1	97.3	98.7	98.1
	3回目	97.3	97.8	97.1	98.7	98.1
	追加	94.4	95.4	95.2	96.7	95.5
BCG		96.2	96.3	95.2	96.9	96.7

単位：%

※4種混合には、ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオが含まれているため、三種混合（ジフテリア・百日せき・破傷風）とポリオの両方に計上している。

ウ 麻しん及び風しん 2歳時点での接種率

	対象者数	接種者数	接種率(%)
H28年生まれ	721	693	96.1
H29年生まれ	745	727	97.6
H30年生まれ	734	732	99.7
R1年生まれ	690	666	96.5
R2年生まれ	609	586	96.2

単位：人

エ 取組

今後も安全かつ適切に予防接種ができるよう、接種環境の整備を行っていく。

乳幼児健診等で予防接種歴を確認し、適宜未接種者への接種勧奨や今後の接種スケジュールなどを説明している。

(3) 特別の理由による任意予防接種費用助成事業

ア 目的

定期の予防接種を受けた後、骨髄移植手術その他の理由により、接種済みの定期予防接種の予防効果が期待できないと医師に判断され、任意で再度接種する児に対し、予防接種に要する費用の一部を助成することにより、保護者の経済的負担を軽減し、疾病の発生及びまん延の防止する。令和元年度より実施。

イ 対象者

骨髄移植手術等により接種済の定期予防接種の予防効果が期待できないと医師が認めた者のうち、再接種日において長久手市内に住所を有し、接種済の定期予防接種の接種回数及び接種間隔が規定どおり終了している者。

4種混合：15歳未満

B C G：4歳未満

ヒブ：10歳未満

小児用肺炎球菌：6歳未満

上記以外の予防接種：20歳未満

ウ 対象となるワクチン

再接種することが必要と医師が判断した定期予防接種 A 類ワクチン

エ 予防接種被接種者数

	R1	R2	R3	R4
申請者	2	3	2	2
助成者	0	3	2	1

※助成期間は接種日の翌月から起算して1年以内のため、年度をまたいで助成申請する者がいる。

オ 取組

該当者が適切に接種できるように周知が必要であるため、ホームページで周知、健診等で把握した際は随時案内を行う。

(4) 風しん対策事業

ア 目的

妊娠期の風しん罹患による先天性風疹症候群の発生を予防するために、風しん抗体検査費及び風しんワクチン接種費を助成することで、ワクチン接種を受けやすい環境をつくり、先天性風疹症候群の発生を集団防衛する。

イ 対象者

- ・妊娠を予定又は希望する出産経験のある女性及びその配偶者等の同居者
(令和元年度から対象が同居者へ拡大)

- ・妊娠中の女性の配偶者等の同居者

(平成 28 年度から対象に夫を追加、令和元年度から対象が同居者へ拡大)

※ただし、妊娠中の者、風しん罹患者、過去にワクチン接種がある者、風しん追加的対策事業の対象者は除く。

※妊娠を予定又は希望する出産経験のない女性及びその配偶者等の同居者の抗体検査は愛知県風しん対策事業の対象。

ウ 助成方法

風しんワクチン又は麻しん風しんワクチンの接種後、申請により接種費用の全額を償還払いにて助成。1 人 1 回限り。

エ 実施状況

対象者	抗体検査			ワクチン接種		
	R2	R3	R4	R2	R3	R4
①妊娠を予定又は希望する出産経験のない女性				20	9	9
②①の配偶者等の同居者				2	0	2
③妊娠を予定又は希望する出産経験のある女性	9	1	3	13	13	9
④③の配偶者等の同居者	8	2	3	7	1	1
⑤妊娠中の女性の配偶者等の同居者	8	3	1	5	1	0
合計	25	6	7	47	24	21

単位：人

オ 取組

妊娠期の風しんの罹患を予防するため、親子（母子）健康手帳交付時、転入手続き時、乳幼児健診時、ホームページで周知していく。

(5) 風しん追加的対策事業

ア 目的

公的な接種を受ける機会がなかった昭和 37 年 4 月 2 日から昭和 54 年 4 月 1 日の間に生まれた男性に対し、風しん抗体検査の費用を助成する。抗体検査の結果、抗体不十分であった者を風しん第 5 期定期予防接種対象者として費用を助成することにより、先天性風疹症候群の発生を集団防衛する。平成 31 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月までの実施。

イ 抗体検査費助成

(ア) 対象者

昭和 37 年 4 月 2 日から昭和 54 年 4 月 1 日の間に生まれた男性

(イ) 助成方法

対象者にクーポン券を交付し、抗体検査費を全額助成。1 人 1 回限り。

ウ ワクチン接種費助成

(ア) 対象者

昭和 37 年 4 月 2 日から昭和 54 年 4 月 1 日の間に生まれた男性で、風しん抗体検査の結果抗体が不十分と判断された者

(イ) 助成方法

対象者にクーポン券を交付し、ワクチン接種費を全額助成。1 人 1 回限り。

エ 予防接種被接種者数

対象者：7,954 人

	R1	R2	R3	R4
抗体検査	884	885	559	250
ワクチン接種	190	194	120	55

単位：人

オ 取組

該当者が適切に検査・接種できるように、ホームページで周知。

クーポン対象者には令和 3 年度末に期間延長の通知を行い、令和 4 年度末には抗体検査及び接種を行っていない者に対し勧奨通知を行った。

(6) HPV ワクチン任意接種費用助成事業

ア 目的

積極的勧奨差控えにより、HPV ワクチンの定期接種の機会を逃した者であって、既に自費で接種を受けた者に対する当該接種の費用を払戻し（償還払い）する制度（令和 7 年 3 月末日までの時限措置）。

イ 対象者

以下（ア）から（オ）まで全てに該当する者

（ア）令和 4 年 4 月 1 日時点で長久手市に住民登録があること

（イ）平成 9 年 4 月 2 日～平成 17 年 4 月 1 日生まれの女子であること

（ウ）16 歳となる日の属する年度の末日までに（定期接種の対象期間内、高校 1 年生 3 月 31 日までに）HPV ワクチンの定期接種において 3 回の接種を完了していないこと

（エ）17 歳となる日の属する年度（高校 2 年生の 4 月 1 日）から令和 4 年 3 月 31 日までに国内の医療機関で HPV ワクチン（2 価ワクチン（サーバリックス）、4 価ワクチン（ガーダシル））の任意接種を受け、実費を負担したこと。

※9 価 HPV ワクチン（シルガード 9）で接種された方は対象外。

（オ）償還払いを受けようとする接種回数分について、キャッチアップ接種としての定期接種を受けていないこと

ウ 実施状況

	R4
申請者	17人

オ 取組

ホームページで周知。また、令和 4 年度キャッチアップ対象者の通知に本事業の案内を記載した。

(7) 臨時接種・新型コロナワクチン

ア 目的

新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため、予防接種法附則第7条の特例規則に基づき、法第6条第1項の規定による臨時の予防接種とみなして、新型コロナウイルスワクチン接種を実施する。

イ 対象年齢

生後6か月以上

ウ 接種体制

個別接種及び集団接種

市のコールセンターにて、市内個人医院への代行予約も行う。

エ 接種状況

(ア) 全年代接種率（令和5年5月8日までの登録データに基づく）

総接種回数	159,889回	旧ファイザー	ファイザー BA1	ファイザー BA5	旧モデルナ	モデルナ BA1	モデルナ BA5	その他	内訳
1回目	46,955回	35,014回			11,918回			23回	77.59%
2回目	46,786回	34,898回			11,865回			23回	77.31%
3回目	37,166回	20,444回	324回	1,567回	14,670回	99回	37回	25回	61.41%
4回目	19,640回	8,270回	698回	6,238回	3,689回	602回	135回	8回	32.45%
5回目	9,342回		44回	9,196回		40回	62回	0回	15.44%

※小児の値は3回目に計上されていない。

(イ) 再掲 高齢者（65歳以上）のみ接種

総接種回数	44,622回	旧ファイザー	ファイザー BA1	ファイザー BA5	旧モデルナ	モデルナ BA1	モデルナ BA5	その他	内訳
1回目	9,866回	9,779回			84回			3回	96.64%
2回目	9,852回	9,764回			85回			3回	96.50%
3回目	9,550回	6,999回	12回	35回	2,504回	0回	0回	0回	93.54%
4回目	8,595回	5,996回	141回	391回	2,059回	5回	0回	3回	84.19%
5回目	6,759回		35回	6,704回		5回	15回	0回	66.21%

オ 取組

該当者が適切に接種できるように、ホームページに情報を掲載、対象者には個別通知を行う。